

2025年度 秋～冬の出張イベント

森と川の関係を知る森散策

福島市役所が主催で年数回行っている「阿武隈川サミット」。阿武隈川流域に住む小学生を対象にしたこの自然体験活動に、数年前から協力させていただいている。例年、阿武隈川上流域でのイベントにお呼びいただき、今年は11月15日に子どもたちと森を散策してきました！

ブナやトチの実を探したり、森と川の関係のお話をしたり…。トチの実を水に浮かべてみる体験では、子どもたちからは驚きの声が！普段はできない体験にワクワクしている様子が印象的でした。



那須ビジ秋祭りに出展しました

生憎の雨にもかかわらず沢山のお客さんがいらっしゃり、多くの方に展示ブースに来ていただきました。特に注目の的だったのはクマの毛皮！口の中を覗いて歯をじっくり観察したり、毛皮や爪を触って生きている姿を想像したり…

最近何かと話題になっているクマですが、このようなイベントを機に、もっとクマのことを知ったり、人とクマとの関係性を考えていくきっかけになればと考えています。



お問い合わせはこちら

那須平成の森フィールドセンター

9:00～16:30 (5・7・8月のみ 9:00～17:00)

水曜休園 (GW、お盆、年末年始は無休、月により臨時休園日あり)

〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙3254

TEL: 0287-74-6808 FAX: 0287-74-6809

HP: <https://nasuheisei-f.jp>

自然 × 子どものイベント



自然と子どもに関する取り組みを行っていらっしゃる様々な団体が集まるキッズネイチャーフェス。会場は、多くのご家族でにぎわい、ブースでは来てくれた子供達が、夢中になってカプセルの中に隠された自然物の音を聞く様子が見受けられました。

那須平成の森がイベントに出店する際は、音で行う神経衰弱や、木の実を使った万華鏡など自然物を使いながら観察できるような遊びを考え準備しています。

地元の保育園でクマの話の授業を実施



連日のクマ報道の影響もあり、登山や森の散策をやむなく中止にする学校団体も。でも、こういう時こそ野生動物との向き合い方を考えてもらいたいという先生の声もあり、地元の保育園に「クマのお話」の出前授業に行きました。

クマの1年間の生活や、森を育てる役割も担っていること等を写真や絵本で紹介。実際に触ってもらったクマの毛皮には、登山者が山に残したお菓子の味を覚えた結果、駆除されてしまった過去が…。

今号の表紙

冬の名物プログラム

「月あかりを楽しむナイトハイクスノーシュー」



雪の積もった夜の森を、専用のスノーシューを履いて散策します。帰ってくればあたたかい焚火とクロモジ茶が待っています。

日光国立公園

那須平成の森 通信

第60号
令和7年12月

